

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	5	0	・布団の枚数が微妙に足りない。臥位になるお子さんが多い為足元の注意を払わないと移動できない為遊び終えた玩具を一旦しまう、端に寄せるなど配慮が必要である。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	3	2	・看護師がお子さんと外に出してしまう場合、一部屋一名体制での対応が出来ない。また、目が離せないお子さんが多い中の休憩回しが厳しい時がある。デスクに入っている方に状況に応じて対応をお願いするなど臨機応変に対応する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	0	・段差等がないため、スムーズな移動が可能である。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	4	2	・個別支援計画を作成している職員のみならず他職員も計画について通所会議等で共有する機会があり改めて目標について振り返ることができる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	4	3	・改善策実施後のフィードバックが必要。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	5	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	4	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	4	1	・KKの研修や過去に医療ケアの研修で緊急時の動き方等を実施しスキル向上に繋げている。
適切な 支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	2	1	・職員全員で計画立案する為にアセスメントを徹底的に実施し、また具体的な支援方法を作り上げる為に利用者の保護者から想いや考慮すべき点等を含めて作成している。 ・子どもと家族への聴き取りから意向を計画に反映し振り返りを行うところまでの流れを確立する必要がある。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	4	1	・判断根拠となる指針がない為、統一または作る必要がある。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	3	1	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	3	2	・利用者の活動状況に応じて計画内の活動プログラムを日々、職員同士で変化を加えて実施している。 ・同じ効果が得られる遊びを子どもが楽しめる要素は残し応用しながら提供する為の仕組みが必要。例えば細かな発達段階や感覚刺激、好みに分けた遊びの表を作るなど。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	3	2	・同じなため、見直す必要がある。

支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるサービス計画を作成しているか	8	4	1	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	4	1	・共有と振り返りは毎回、必ず実施しており目標に向けて具体的な実施内容について職員同士で確認している点。 ・非常勤・アルバイトに対して時間帯のずれがある場合支援開始前の打ち合わせに参加出来ない。非常勤・アルバイト者は当日ご利用するお子さんの支援を全員分見て、疑問があれば常勤に確認する。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	2	0	・設定した具体的な支援策に対する改善効果を改めて共有される為、実施者以外も含めて全員で気付くことができる。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	3	0	
	⑱	定期的なモニタリングを行い、サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	4	2	・評価が間に合っていない為、担い手を確保する必要がある。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	3	1	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3	0	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	2	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	12	1	0	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	4	1	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	3	2	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	4	1	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	5	2	・コロナ禍のため、野外(公園)での交流はある。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	5	0	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2	0	

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4	3	
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	5	1	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	2	0	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	2	2	・精神的支援に不可欠である為、介入の頻度を上げて交流を活性化する必要があると考える。 ・コロナ禍により親子交流会を見合わせていたが今年は手法を変え実施予定。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	0	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	3	2	・職員体制や活動内容の開示が不十分。保護者から見て誰が何をしているかが分かる仕組みが必要。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1	0	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	1	0	
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	3	・緊急時対応と防犯に関しては不十分と考える。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	2	2	・必要最低限の為、定期的な実施が必要。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	2	1	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、サービス計画に記載しているか	10	2	0	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	2	0	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	0	0	